

第9回きょうゆうサロン 参加者アンケート結果

全学教育センター

I. 回答者の属性

回答者は、参加者 23 名のうち、16 名であった。

回答者の属性は、

職種：専任教員 11 名，非常勤教員 2 名，専任職員 3 名

性別：男性 12 名，女性 4 名

所属学部等：社会福祉学部 3 名，経済学部 2 名，健康科学部 0 名

子ども発達学部 4 名，国際福祉開発学部 2 名，福祉経営学部 1 名

無回答 4 名

II. 参加への経緯

本会の開催についてどのように知ったかについては、

ポスター1名，チラシ1名，教授会資料6名，知人1名，web1名，

メール（ML含む）2名，その他3名，無回答・その他4名（複数回答あり）であった。

今回のサロンに参加を決めた理由については、

ICT 活用に関心があった、活用の現状を理解したい 2 件

ICT が苦手な少しは習熟したいため 1 件

興味があったから、面白そうだから 2 件

機構メンバー・発表者 4 件

時間があったから、誘われて 2 件

その他 1 件

無回答 4 件（複数回答あり）であった。

III. きょうゆうサロンのプログラムについて

全会全体の評価を 12 項目でたずねた。その結果を以下に示す。

1. 今回のランチタイム FD は、全体的に満足のものだった

		人数	割合(%)
4.	そう思う	11	68.8%
3.	どちらかというと思う	5	31.3%
2.	どちらかというと思わない	0	0.0%
1.	そう思わない	0	0.0%
0.	分からない(該当外)	0	0.0%
		16	

2. 事前に、このきょうゆうサロンの目的を理解していた

		人数	割合(%)
4.	そう思う	7	43.8%
3.	どちらかというと思う	7	43.8%
2.	どちらかというと思わない	0	0.0%
1.	そう思わない	2	12.5%
0.	分からない(該当外)	0	0.0%
		16	

3. 今回のきょうゆうサロンの目的は分かりやすく説明されていた

		人数	割合(%)
4.	そう思う	11	68.8%
3.	どちらかというと思う	5	31.3%
2.	どちらかというと思わない	0	0.0%
1.	そう思わない	0	0.0%
0.	分からない(該当外)	0	0.0%
		16	

4. 開催の日時、時間帯は適切であった

		人数	割合(%)
4.	そう思う	7	43.8%
3.	どちらかというと思う	4	25.0%
2.	どちらかというと思わない	5	31.3%
1.	そう思わない	0	0.0%
0.	分からない(該当外)	0	0.0%
		16	

5. 事務局は手際よく運営していた

		人数	割合(%)
4.	そう思う	10	62.5%
3.	どちらかというと思う	6	37.5%
2.	どちらかというと思わない	0	0.0%
1.	そう思わない	0	0.0%
0.	分からない(該当外)	0	0.0%
		16	





6. 内容は、ちょうどよいレベルに設定されていた

		人数	割合(%)
4.	そう思う	11	68.8%
3.	どちらかというと思う	4	25.0%
2.	どちらかというと思わない	0	0.0%
1.	そう思わない	0	0.0%
0.	分からない(該当外)	1	6.3%
		16	




7. 内容は、わかりやすい順序で進められた

		人数	割合(%)
4.	そう思う	10	62.5%
3.	どちらかというと思う	6	37.5%
2.	どちらかというと思わない	0	0.0%
1.	そう思わない	0	0.0%
0.	分からない(該当外)	0	0.0%
		16	





8. 配布資料・提示資料はわかりやすいものだった

		人数		割合(%)
4.	そう思う		5	31.3%
3.	どちらかというと思う		6	37.5%
2.	どちらかというと思わない		3	18.8%
1.	そう思わない		0	0.0%
0.	分からない(該当外)		2	12.5%
			16	




9. 話題提供者の説明はわかりやすいものだった

		人数		割合(%)
4.	そう思う		11	68.8%
3.	どちらかというと思う		4	25.0%
2.	どちらかというと思わない		0	0.0%
1.	そう思わない		0	0.0%
0.	分からない(該当外)		1	6.3%
			16	





10. このサロンを通して、人的なつながりを作ることができた

		人数		割合(%)
4.	そう思う		0	0.0%
3.	どちらかというと思う		7	43.8%
2.	どちらかというと思わない		5	31.3%
1.	そう思わない		0	0.0%
0.	分からない(該当外)		3	18.8%
	無回答		1	6.3%
			16	

11. このサロンを通して、自分に有益な情報を得ることができた

		人数		割合(%)
4.	そう思う		7	43.8%
3.	どちらかというと思う		8	50.0%
2.	どちらかというと思わない		0	0.0%
1.	そう思わない		0	0.0%
0.	分からない(該当外)		1	6.3%
			16	

12. 今回の内容は、今後の自身の取り組み(指導・支援など)をするうえで役に立ちそうだと

		人数		割合(%)
4.	そう思う		6	37.5%
3.	どちらかというと思う		7	43.8%
2.	どちらかというと思わない		1	6.3%
1.	そう思わない		0	0.0%
0.	分からない(該当外)		2	12.5%
			16	

12. でお答えの内容について、具体的にはどのような点が役に立ちそうですか。

授業に活用します	1
国際入門の学生の受け止め方	1
「福祉の力」は、現場の方からも関心を持ってもらっています。現場とのつながりをつくる手掛かりに使えると思っています	1
NFU.JPの機能で、まだ活用していないところを使ってみようと思った	1
知らなかった今後の授業に導入したい情報が得られた。	1
授業内でのICT活用について検討する良い材料が聞けたと思います。まずは、アンケート+ミニテストから使ってみようかと思います。	1
コンテンツのバリエーションが豊富にあることを再発見しました	1
オンデマンド教材の活用のし方について具体的な話ができるような気がする	1
知っているようで知らないことがあり、改めて勉強になりました	1
教材作成	1
無回答	6

IV. 今後、FD で扱ってほしいテーマがあれば、ご提案ください。

学力の基礎について。データをもとに	1
評価方法の交流	1
学習支援のあり方	1
単位過小学生や勉強苦手の学生をふるいたさせたという「成功事例」があれば、それを聞かせてもらいたい	1
無回答	12

V. その他、ご要望・ご感想などをご自由にお書きください。

教職員の私的な用途を有料で扱うと広がるのでは。例えば、たまっている個人写真を有料でアルバムやDVDにするなど(親へのプレゼントや子どもの成長アルバムなど)そこから仕事にも使える糸口がみつかるのではないのでしょうか	1
オンデマンド教材の開発や活用のし方について、教育者になろうとしている子ども発達学部教員にもっと関心を持ってもらいたいと思った	1
無回答	14